

す。

この同窓会誌が発行される頃には、6年生の先輩方は国試へのラストスパートでしょうか。卒業する先輩方は私たち後輩に常日頃声をかけてくれ、私たちはいつも優しさを貰ってきました。私たちも来年には4年生。先輩よりも後輩の数が多くなります。たくさんの先輩に貰った温かさを、今度は後輩に伝えていきたいと思っています。



2年生の近況報告

高橋 啓 (2年次)

同窓会の諸先輩方、はじめまして。医学科2年次の高橋啓と申します。学士編入学により今年4月から医学科に通っています。毎日が新鮮で充実した日々を送ることができ、この半年間で多くの経験をすることができました。

まず、沖縄に来た初日、内地との食文化の違いを経験しました。私が食堂でちゃんぽんを注文した際、店員さんにみそ汁が付いているかと尋ねると、ついていないとの返答。そのため追加でみそ汁も注文したところ、目の前にはちゃんぽんとみそ汁定食が並びました。沖縄のみそ汁とは、どんぶりに入った豚汁のようなものですね(ちなみにちゃんぽんも想像していたものと異なりました)。苦笑いの私でしたが、店員さんの「二つ食べたらいいさ」の明るい声と満面の笑顔が印象的でした。私の沖縄生活はこの様にスタートしたわけですが、沖縄県は人も気候も暖かく、私にとって非常に過ごしやすい土地です。

夏季休業中は沖縄県の支援の下、離島医療実習にも参加させていただきました。離島の高齢化は進んでおり、私が行った渡嘉敷島も65歳以上の高齢者は25.4%と例外ではありません。そのため患者さんはおじやおばあが大半を占めます。診察では方言のやりとりが多いため、理解できずに診察後医師の方に何と話していたか何度も聞き直しました。また患者さんの自宅に訪問した際には三線を披露して頂き、大いに盛り上がりました。間近で離島診療や島民の生活を見学できただけでなく、方言や三線はコミュニケーションをとる手段の一つであることも痛感したので、今後身につけていきたいと考えています。

学業面では基礎医学系の科目を学んでいますが、10月から解剖実習が始まりました。筋肉や脈管系の走行、さらに脊椎の構造など、「百聞は一見に如かず」とは言いますが、机上での経験とは比べものにならない驚きが日々あります。でいご会をはじめ実習を支えてくださる多くの方々に感謝して、今後も実習に取り組んでいきます。

加えて、課外活動ではラグビー部の仲間と日々切磋琢磨し、さらに所属する地域医療研究会では同士を増やす策を考案中です。沖縄に骨を埋める覚悟で羽田から飛び立ってきたので、沖縄県で医療を続ける学友を一人でも増やせたらと考え



ています。

このように経験の重要性を痛感した半年間でした。学生時代というのは、お金はありませんが時間はあります。この利点を生かし、今後も多くの経験をして将来に役立てたいと考えています。そして非常に明るく活気のある2年生全員で、学業や課外活動でも切磋琢磨し、皆で向上していけたらと思います。同窓会の諸先輩方、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

1年の半分を終えて

我喜屋 亮 太 (1年次)

入学してから時がたつのも早いもので、前期・夏休みを経て後期の授業が始まりとても楽しく充実した毎日を送っています。

前期の授業では高校と同じく英数理社などがあり、高校とあまり変わらない感じなのかなと思ったのですが、社会は多種多様に富んだ講座から自分で気になるものを選び他学部と混ぜて受講するといったもので非常に楽しくイメージしていた大学の授業そのものでした。テストでは記述試験やレポート提出といったものでしたが、高校とは違い持ち込みが可能なテストがあったことが印象的でした。

私は入学してバレー部に入りました。8月のはじめには西医体があり名古屋へ行ってきました。西医体では先輩方と一緒に過ごすことが多く、先輩方と今まで以上に親しくなることができ、また試合での先輩方の闘志あふれるプレーに感動し私自身もさらにうまくなりたいとより強く思うようになりました。試合が終わると、6年生の先輩が引退してしまうためみんなで胴上げをしました。やや涙ぐんでいる先輩を見て6年生になるまで一生懸命部活を頑張ろうと思いました。

10月2・3日には琉大祭がありました。私たち医学科1年次は去年の先輩方と同じく、食べ物を売る出店を行いました。夏休みに入る前から役割を振り分ける等の準備を少しずつ始めましたが、全体で集まるといった事がなかなか難しく、物事が思うように決まらず心配しましたが、年次長の崎原君を中心としたまとめ役の方々のおかげで無事に当日を迎えることができました。

琉大祭が始まってからはトラブルの連続でした。近くのお店がかき氷を私たちよりもかなり安い値段で売っていたり、琉大祭当日は非常に暑かった為、沖縄そばが全然売れずに苦戦しました。しかしみんなで一丸となってお店を運営し働いた事はとても楽しく、琉大祭のあとの打ち上げも今までで一番の盛り上がりを見せ、1年次の仲の良さを再実感することができました。

また、10月から救急車実習も始まっています。これは実際に救急車の出動に同伴させてもらい見学をする実習で、1日に約8回ほどの出動があり様々なケースに遭遇すると聞いています。1年次において唯一の医学に関する実習なので医学部生としてこれから医療を学ぶスタートに立った気持ちになります。後期が始まり先輩方が忙しくなるなか、比較的時間にゆとりのある1年後期のうちに医学以外の勉強や読書、部活、遊びなどで有意義な時間を送りたいと思います。

